

茨城県立歴史館の学校教育支援事業（出前講座）テーマ一覧〈令和4年度版〉

当館では小・中学校および高等学校を対象にした学習支援事業（出前講座）を実施しています。講座のテーマおよび具体的な内容は下表のとおりです。社会科の授業はもちろん、総合的な学習の時間などにおいても、ぜひ積極的にご活用ください。

	タイトル・テーマ名	具体的な内容
1	勾玉づくり体験	縄文時代から作られていた勾玉についての解説と、ろう石を使った勾玉づくりを体験します。 ※材料費（1個 320円）がかかります。
2	粋な紋切りあそび ー日本の心が見える紋 紋の文化と粋についてー	紙を折って型どおりに切り抜くときれいな紋が出来上がる、江戸時代からの粋なあそび「紋切りあそび」。実際に体験しながら、紋の文化を学びましょう。
3	ちょっと昔の暮らし	昔使われていた道具の体験ができます。小学3年生の授業に最適です。
4	茨城の偉人	茨城県ゆかりの郷土の偉人について楽しく解説します。郷土教育、総合的な学習の時間に最適です。小学4年生から中学生対象です。
5	水戸城・千波湖・偕楽園	水戸のシンボル千波湖、偕楽園とともに水戸城について映像を交えて分かりやすく紹介します。小・中学校の総合的な学習の時間に最適です。
6	笠原水道 〈新規〉	水戸藩2代藩主徳川光圀の大事業である「笠原水道」について、映像を交えて分かりやすく紹介します。総合的な学習の時間や小学4年生の社会科の学習に最適です。
7	検地体験 〈新規〉	「検地」や「検地に使った道具」について映像や簡単な図形操作を通して学びます。小学校及び中学校社会科の学習に対応しています。
8	茨城のみち ー交通網の移り変わりー	茨城県の道路や鉄道を中心とした交通網の変遷について紹介します。
9	はにわの世界	焼き物である「はにわ」を通して、古墳が作られた時代について解説します。
10	火おこし体験	古代の食生活についての話と調理にかかせない火おこしの体験をします。小学校高学年～中学生向けの内容です。
11	石に刻まれた歴史と祈り	中世から近世に造られた石仏・石塔からうかがえる歴史や人々の祈りについてお話しします。
12	佐藤進「渡洋之記」を読む	日本最初のドクトル佐藤進のドイツ留学時の渡航日記「渡洋之記」を読みときます。
13	日本刀のイロハ	現在、文化財として扱われている日本刀について、その歴史的・美術的な価値と楽しみ方を、体験活動を交えながら分かりやすく解説します。
14	小学校教育資料をよむ	当館所蔵の県内小学校「学校沿革誌」「学校日誌」などを紹介します。（小中学校教員向け）

15	異国趣味と江戸文化（水戸藩編） 〈新規〉	江戸時代は中国文化は憧れの的でした。水戸藩は儒学者朱舜水や禅僧東皐心越を招聘し、後半期には立原杏所のような優れた南画家も輩出しました。唐様の実態を踏まえつつ、幕末には水戸藩士がパリへ行くまでをお話します。
16	常陸の戦国大名佐竹氏	教科書などではあまり目にしない戦国大名佐竹氏について、分かりやすく解説します。
17	異国船の衝撃 －幕末動乱への序曲－	江戸時代後期、那珂湊や大津浜などに異国船が現れるようになると、水戸藩では欧米諸国の圧力に対する危機感が高まり、攘夷思想が進展していきました。幕末動乱の引き金ともなった、これらの事件について分かりやすく解説します。
18	古文書から歴史をさぐる	江戸時代の検地帳や人別帳等を使って古文書を読むおもしろさに触れるとともに、歴史への興味の導入とします。
19	古文書とくずし字	古文書とはどんなものか、くずし字はどう読むのか、あいうえおの成り立ちから学びます。
20	古地図の読み方 －入門編－	古地図が描かれた背景を探るべく、その見方や活用方法を紹介します。
21	古地図を読み解こう 〈新規〉	古地図（絵図・近代地図）に描かれている情報から茨城県域を振り返ります。
22	史料にみる江戸時代の寺子屋 〈新規〉	江戸時代の庶民の学びの場である寺子屋とは、どのようだったのか。水戸藩錫高野村（現城里町）の寺子屋師匠・黒沢ときが書き残した日記などの史料を読んで考えます。 【関連】学習指導要領 中学校歴史 2-B-(3) 近世の日本(ウ)産業の発達と町人文化

【活用する方法について】

① お申し込み

上表のテーマ一覧から希望の講座を選んでいただき、教育普及課までご連絡ください。その後、実施に向けての詳しい打ち合わせを行います。

なお、お申し込みは、実施日の1か月前までをお願いします。

② 経費

無料です。講師派遣の費用（謝礼、交通費等）は必要ありません。

③ その他

講座担当者の展示作業、調査などのため、希望日の調整ができない場合があります。

問い合わせ先

茨城県立歴史館 管理部教育普及課

〒310-0034 水戸市緑町 2-1-15

電話 029-225-4425 FAX 029-228-4277

E-mail: daihyou@rekishikan.museum.ibk.ed.jp